

令和7年7月18日  
青森市福祉部高齢者支援課長

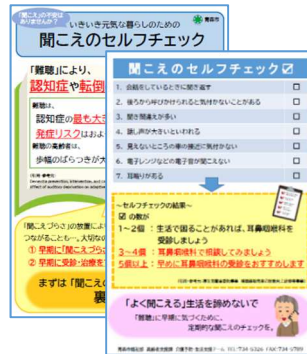
## 軟骨伝導イヤホンを活用した難聴に関する取組について

本市では、認知症やフレイルのリスク要因とされる「難聴」への対策として、難聴高齢者の早期発見・早期受診の促進に取り組んでいます。令和7年度からは、市内11か所の地域包括支援センターに軟骨伝導イヤホンを配置し、高齢者への相談支援や介護予防に関する健康教育など、様々な場面で活用しています。

活用の一例として、このたび、地域住民が集う「認知症カフェ」において、軟骨伝導イヤホンを活用した聞こえのセルフチェックを実施します。難聴に対する新たなアプローチとして注目される取組ですので、ぜひ取材・報道をお願いします。



▲軟骨伝導イヤホン



▲聞こえのセルフチェック  
リーフレット



▲イヤホン体験の様子

### 日時

令和7年7月25日（金） 午前10時00分～11時30分

※聞こえのセルフチェックは午前10時40分頃から予定

### 場所

わかみや会館（青森市東大野一丁目4-2）

### 実施団体

青森市おおの地域包括支援センター

認知症カフェ「ほっとカフェ」（参加者約30名）

（認知症カフェは、認知症のかたやご家族、地域のかたが気軽に集まり、おしゃべりを楽しんだり学んだりできる場です。）

### 内容

参加者を対象に、聞こえのセルフチェック及び軟骨伝導イヤホンと集音器による聞こえの体験

### 参考：軟骨伝導イヤホン

外耳道の軟骨を通じて音を伝える新しい技術を活用したイヤホンです。集音器とセットで使用し、小さな音をより明瞭に聞き取ることができます。

本市では令和6年度より、駅前庁舎の一部窓口にも軟骨伝導イヤホンを導入し、聞こえに不安のあるかたが安心して手続きできる環境づくりに努めています。

